町民が輝き，活力と潤いと魅力あふれる花のまち

広報わどまり

WADOMARI TOWN PUBLIC RELATIONS

4
Apr.2019
No.363
企画課編集

リリー

平成31年度施政方針

フォトトピックス：第38回花の島沖えらぶジョギング大会

平成31年度

施政方針

はじめに

平成31年第1回和泊町議会定例会の開会にあたり、本町の基本的な施策である「活力ある産業の振興」「教育文化の振興と心豊かな人づくり」「社会福祉等の充実」「交通基盤等生活環境の整備」に取り組み、「町民が輝き、活力と潤いと魅力あふれる花のまち」を実現するため、平成31年度（２０１９年度）施政方針並びに予算案を提案いたします。

議会をはじめ、町民の皆様の町政に対する御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

国の平成31年度（２０１９年度）予算は、新経済・財政再生計画で位置付けられた、社会保障改革を軸とする基盤強化期間の初年度となる予算であり、同計画に基づき、歳出改革等に着実に取り組み、社会保障関係費や非社会保障関係費等について歳出改革の取組を継続するとの方針の下、同計画に沿った予算編成を行うとしております。

また、財政健全化への着実な取組を進める一方、幼児教育の無償化をはじめとする「人づくり革命」の推進や、第４次産業革命の技術革新等を通じた「生産性革命」の実現に向けての設備・人材などへの力強い投資、研究開発・イノベーションの促進など重要な政策課題への対応に必要な予算措置を講ずるなど、メリハリの効いた予算編成を目指すとしております。

一方、地方財政においては、人づくり革命の実現や地方創生の推進、防災・減災対策等に取り組みつつ、地方交付税交付団体をはじめ地方が安定的な財政運営を行うために必要となる一般財源総額について、平成30年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することを基本として地方財政対策を講ずるとし、また、地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額について、平成30年度地方財政計画を上回る額を確保するとしております。

さらに、平成31年３月末で期限となる奄美群島振興開発特別措置法（奄振法）を改正する法律案等を閣議決定し、法の有効期限を５年間延長し、各種事業のかさ上げや、農林水産物の奄美群島農林水産物輸送コスト支援事業、航空・航路運賃軽減事業の対象を、それぞれ拡充して継続するなどの措置を講ずるとしております。

このような動向を踏まえ、本町の平成31年度（２０１９年度）予算編成にあたっては、最終年度を迎える第５次総合振興計画や過疎地域自立促進計画の着実な推進と、町民が安心して暮らせるまちづくりや子育て支援策を重点とした予算配分を行ったところであり、財政健全化に向けた取組についても引き続き行いながら、第５次総合振興計画の将来像である「町民が輝き、活力と潤いと魅力あふれる花のまち」の実現に努めてまいります。

1 活力ある産業の振興

（1）農業の振興

農業を取り巻く環境は、台風などの自然災害の多発に加え、農業従事者の減少や高齢化の進行などの問題が山積しています。

国においては、昨年末のＴＰＰ11の発動を受け「攻めの農林水産業」の実現に向けた新規事業の導入が予想されており、新奄振事業と合わせて注視しながら、本町農業にふさわしい事業を展開してまいります。

作物別では、さとうきびは、昨年９月末に襲来した台風24号の影響を受け当初の圧搾は低糖度となりましたが、現在は基準糖度帯に達しております。

また、産地パワーアップ事業に「砂糖製造業における働き方改革を踏まえた省力化設備等の整備」が事業化され製糖工場内機械の整備が始まりましたので、取組主体と協議を実施してまいります。

平成30年産のバレイショは、価格低迷による青果物生産出荷安定基金の発動に伴い、平成31年産の同基金への持ち出しが増額となり、また、懸案であった一時保管場所の設置等については、輸送コスト支援事業の生産振興対策費にて対応がなされました。

里芋種子対策については、県内の種場産地において高齢化に伴う生産量の不足問題や、疫病対策などの諸問題について関係機関と協力し継続対応を行います。

百合球根生産の環境は依然として大変厳しい状況にありますが、切り花の販売に関しては県の地域振興事業で「えらぶ花の島リザレクション事業」を継続し、ＰＲ活動に努め、価格安定と予約相対率向上を図ります。

また、鉄骨平張施設とＬＥＤ光源に加え、非常用の発電機導入まで取組を拡充したことにより、度重なる台風の襲来時においても被害軽減が図られ、その重要性が再認識されました。

畜産については、慢性的な素牛不足と和牛相場の高騰に伴う子牛価格の高止まりにより肥育農家の経営を圧迫しており、手放しで喜べる状況ではありません。今後の価格変動にも耐えうる体制を整えるため、平成31年度（２０１９年度）は畜産基盤再編総合整備事業による生産農家の畜舎及び草地造成、畜産クラスター事業による機械導入等により畜産基盤の強化に努めて

マチイロ 広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。ダウンロードはこちらから→

まいります。

6年目を迎えた輸送コスト支援事業については、各団体がより一層、生産振興計画に沿った取組を行い、生産基盤の強化が図られるよう努めます。

国営畑かん事業においては、通水面積が拡充していることから、今後も各地区において畑かんマイスターの出前講座などを継続的に行い「水かけ農業」が強化されるよう、関係機関と連携を図り取り組んでまいります。

農産物加工センターの運営については、地域おこし協力隊1名の採用を予定しており、地域資源を活用した特産品の開発や地産地消活動等を積極的に行い、地域農産物の高付加価値化の推進と農産物加工センターの有効活用に向けて取り組んでまいります。

以上、それぞれの事業を積極果敢に取り組み、本町農業の推進理念である「温暖な気候を活かした複合経営を基本に持続性の高い和泊農業の確立」を推進してまいります。

（2）農業農村整備

農業農村整備事業については、国営沖永良部土地改良事業（地下ダム工事）が平成33年度（2021年度）完了に向けて計画通り進捗しております。附帯する県営事業の区画整理や畑かん施設整備も順次実施されており、区画整理につきましては平成32年度（2020年度）までに計画された全事業を完了する予定です。また、干ばつや塩害防止対策等に不可欠な畑かん整備は急務であり、農作業の効率化や収量向上に向けて、事業費の確保に努めながら計画的に実施してまいります。

事業完了から約20年を超える土地改良施設の老朽化対策について、関係機関と連携を図りながら、補修・更新事業等による施設の適正な維持管理に努めてまいります。

また、昨年の台風で被害を受けました農地・農業用施設の早期復旧と併せて、防災・減災並びに長寿命化事業に取り組んでまいります。

（3）水産業の振興

えらぶ漁業集落及び漁協組合員もかなりの若返りが図られつつあり、浜の活力再生プラン5年目の目標に向かって活性化を図ってまいります。

水産物加工場や冷蔵・冷凍庫の設備が完成し、漁協全体の気運も盛り上がっていますので、今後も支援を行ってまいります。

（4）商工・観光・地域経済活性化

商工業では、地域活性化や経済効果が期待されるイベントの実施へ向け、商工会が主体的に取り組んでおり、充実した事業の実現へ向け、支援を講じてまいります。

また、町内商工業者の経営の安定向上へ向けた設備投資に係る資金の借入に対し、利子補給補助金の支援を引き続き行うほか、需要の高い運転資金に対しても新たに支援を開始してまいります。

観光については、おきのえらぶ島観光協会が主体となり、観光窓口の一元化や情報発信、物産販売、島の自然・農業・漁業や地域資源を活用した着地型体験観光メニューの造成等を実施しております。

平成30年度に、沖縄―沖永良部島―徳之島間のアイランドホッピング航空路線が開通し、沖縄との交流を加速化させており、また、徳之島・沖永良部島・与論島の南三島が一体となっての沖縄経由の観光交流に取り組んでまいります。

また、昨年、NHK大河ドラマ「西郷どん」の放映が終了しましたが、引き続き、西郷隆盛が育んだ「敬天愛人」の思想や功績を後世に継承するとともに、観光振興と併せて地域資源を活用しながら、一過性のブームにならないよう持続可能な観光のまちづくりに取り組んでまいります。

地域経済活性化については、和泊町版総合戦略「わどまり未来予想図プロジェクト」に基づき、「移住・定住促進」及び「交流人口の増加」を中心に取り組んでおり、一定の成果が出ているところです。しかしながら、人口減少に伴う労働者確保が困難な事業所等も見受けられる状況です。今後も社会情勢や国の動向を注視し、地域おこし協力隊等の制度を活用しながら、課題解決に向けた外部人材の活用及び移住・定住の促進に取り組むとともに、大学、金融機関及び他自治体等と連携し、新規産業創出及び労働者確保に向けて各事業を推進してまいります。

2 教育文化の振興とかなづくり

教育行政については、近年、少子高齢化、高度情報化社会の進展による教育環境の変化に対応するため、様々な教育改革が行われています。

このような中、本町においては「総合教育会議」を軸に、教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、教育委員会との更なる連携の強化を図り、和泊町教育振興基本計画に基づき本町教育の一層の振興に努めてまいります。

（1）学校教育の充実

学校教育の充実のため、「確かな学力の定着」「豊かな心を育てる教育の充実」「健やかな体を育てる教育の充実」を重点に取り組んでまいります。

確かな学力の定着については、教職員の指導力向上に努め、特別支援教育支援員や複式学級への学習支援員の配置、ICT機器の活用、主体的・対話的な学習活動を推進してまいります。また、「島内実力テスト」の実施や小学校3・4年生の外国語活動、小学校5・6年生の英語科実施など一層の小中高連携の推進を図ります。

豊かな心を育てる教育の充実については、「いじめ防止基本

マチイロ 広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。ダウンロードはこちらから→

方針」に基づき、関係機関との連携強化を進めるとともに、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの活用による、教育相談体制の拡充にも努めてまいります。また、道徳教育については、小・中学校で、「特別な教科　道徳」が始まり、本町独自の教育活動である、「郷土で育てる肝心の教育」とあわせて、児童生徒が自己の生き方や他者との関わりを通して行動できる力を身に付けられるよう推進いたします。

健やかな体を育てる教育の充実については、児童生徒の体力向上に努めるとともに、平成32年度（２０２０年度）に行われる鹿児島国体開催などを見据えた体力・運動能力強化策の推進に努めてまいります。また、学校給食については、地場産食材を活用した安心・安全で栄養バランスのとれた給食を提供し、食育の推進に努めてまいります。

また、国の安全で安心な教育環境の構築対策に呼応して、町内の各小・中学校、幼稚園の普通教室に空調施設を整備し、児童生徒が安全で安心して学習に取り組める環境を整備します。

（２）家庭教育の充実

「教育の原点は家庭にある」との理念の下、町ＰＴＡ連絡協議会や子ども会育成連絡協議会と連携しながら「基本的生活習慣の確立」「学習意欲の向上」「家庭学習６０・１２０運動」を推進し、家庭教育の充実に努めます。

（３）社会教育の充実

社会教育については、「生涯学習の推進」「芸術・文化活動の推進」「生涯スポーツの推進」の充実を重点に取り組んでまいります。

生涯学習の推進については、生涯学習の拠点である中央公民館を、新庁舎の完成に伴い旧議会棟に移転することにより利用者の利便性を図り、地域における学習の拠点、さらには人づくり・まちづくりの拠点としての機能を高めるとともに、学習内容の充実に努めてまいります。

芸術・文化活動の推進については、郷土の貴重な文化資源の調査・研究を展開しつつ、文化財や伝承芸能を活用した郷土教育の取組を進めてまいります。

生涯スポーツの推進については、町体育協会やスポーツ競技団体と連携してスポーツ活動等の一層の充実を図るとともに、東京オリンピック・パラリンピックや鹿児島国体の開催を見据えて、町民のスポーツへの関心の高まりや競技者の増加につながる施策を展開してまいります。また、町民が生涯にわたりいつでも運動を身近に親しむことができる「元気！わどまりクラブ」等の生涯スポーツの推進も継続・充実してまいります。

3　社会福祉等の充実

（１）健康の増進

町民の健康増進については、「第３次健康わどまり21」に基づき、特定健康診査や各種がん検診等の更なる受診率の向上と、メタボリックシンドロームの予防対策として、「栄養と食生活」「身体活動と運動」「生活習慣病」の３領域について重点的に取り組むほか、母子保健活動の充実や新たに策定した「自殺対策行動計画」に基づくこころの健康づくりなど、町民が健康で安心して生活できる環境づくりを推進してまいります。

国民健康保険事業については、平成30年度から県が財政運営の責任主体となり事業運営が行われているところですが、引き続き健康増進事業や医療費の適正化に取り組みながら健全運営に努めてまいります。

後期高齢者医療については、高齢者が安心して医療を受けられるよう、引き続き鹿児島県後期高齢者医療広域連合と連携を図るとともに、新規被保険者に対する制度周知対策や医療費の適正化などを実施しながら、円滑な事業運営に努めてまいります。

健康増進拠点施設「タラソおきのえらぶ」は、経年劣化等による機械設備の故障や利用者の伸び悩みにより、経営状況は厳しい状況にありますが、年次計画による機器更新に努め、指定管理者である「えらぶ海洋企画」への必要な支援・指導など連携をとりながら、施設の経営健全化に取り組んでまいります。

（２）福祉の増進

急速に進む人口減少や高齢化社会の中で、育児、介護、障害、貧困等、直面する社会課題や家庭の様々な問題を住民と行政が協働して知恵を出し合い、本町の福祉向上を目指し、各主体が福祉活動の担い手となることを目的として、地域福祉計画を策定します。

高齢者福祉及び介護保険については、高齢化率が34％を超えるなか、平成30年度を初年度とする「高齢者保健福祉計画及び第７期介護保険事業計画」を一体で策定しております。

この計画に基づき、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、地域包括ケアの拠点である「地域包括支援センター」を中心として、総合相談、介護予防、認知症対策等の事業を実施するとともに、医療・介護事業者や社会福祉協議会と連携を図り、本町の状況や特性を踏まえた地域包括ケアシステムの構築に取り組んでまいります。

また、今年度新たに小規模多機能型居宅介護事業所を１か所整備し、より良い在宅生活を支援していくこととしているほか、長寿クラブやシルバー人材センターへの事業活動支援など、高齢者が地域で安心して生活できる体制づくりを推進してまいります。

障害者福祉については、「和泊町障害者計画」「第５期障害福祉計画及び第１期障害児福祉計画」に基づき、各関係団体や

マチイロ　広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。
ダウンロードはこちらから→

機関と連携を図りながら、「障害のある人が、住み慣れた地域で必要なサービスを受けられるまち」の実現を目指すとともに、引き続き、日常生活改善のための経済的な支援や社会生活の支援などにより、障害者の自立に向けた支援に取り組んでまいります。

（3）児童福祉の充実

子どもは“地域の宝”という認識の下、子ども・保護者に必要な支援を行い「子育てを社会全体で支援していく」子育て環境づくりに努めてまいります。

「和泊町子ども・子育て支援事業計画」を基に、子育て世代の経済的負担の軽減を図ることを目的として、子ども医療費助成事業のほか、ひとり親家庭医療費助成、多子世帯等の支援を実施しております。また、認定こども園・保育園における子ども一時預かり保育、延長保育及び医療機関における病児・病後児保育の支援を行うなど、保護者が子育てと仕事の両立ができるよう支援するとともに、子育て中の保護者の不安軽減を図るための育児相談やファミリーサポートセンター事業の充実、児童虐待防止のための取組、子どもの貧困対策に向けた取組を実施し、多方面の関係機関と連携を図りながら地域の実情に即した支援にも努めます。

さらに、平成31年4月からは、乳児用品等購入費助成事業を新設し、乳児期に必要なおむつやミルク等の購入費助成や、子ども島外受診旅費助成事業（児童島外療育等旅費助成事業から改称）を実施することにより子育て世代の経済的負担の軽減を図り、安心して子育てができる環境づくりに努めてまいります。

また、平成32年度（２０２０年度）から5年間を計画期間とする、「第２期子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けて取り組んでまいります。

4　交通基盤等生活環境の整備

（1）交通基盤の整備

交通基盤整備は、「安全で利便性に富んだ道路整備」を目標に、各種事業を活用し、通学路への歩道設置や庁舎周辺道路など交通量の多い道路の改良工事と舗装補修工事、また、橋梁長寿命化修繕計画に沿って老朽化した橋梁の改築修繕を推進してまいります。さらに、町道、伊延港、内喜名漁港等の維持管理に取り組み、施設を安心・安全に利用できるよう努めてまいります。

（2）上水道事業

水道事業は、企業会計の更なる経営の健全化を図り、施設の維持管理と老朽管更新事業に取り組むとともに、水質管理を徹底して「安全でおいしい水」の安定供給に努めてまいります。

（3）下水道事業

公共下水道事業においては、人口減少や節水型生活用機器の販路拡大に伴い、下水道処理施設への流入量が減少したため、農業集落排水施設和泊中部処理場を公共下水道施設へ統合することとし、平成30年度から管路の埋設事業が始まり、平成33年度（２０２１年度）末までの完了に向けて事業を実施しております。あわせて、平成31年度（２０１９年度）から施設の耐震化を図るため、耐震対策事業による工事に向けた実施設計を行いってまいります。

また、農業集落排水施設整備事業においても、ライフサイクルコストの低減に努め、東部処理場と北部処理場の耐用年数を超えた機器類の更新事業を継続して行い、平成31年度（２０１９年度）末の完成を目標に取り組んでまいります。

今後とも引き続き、「公共用水域の水質保全と快適な生活環境の確保」のため、合併処理浄化槽整備事業と共に、下水道施設への更なる接続推進を進めてまいります。

（4）住宅整備事業

住宅政策は、「ゆとり・やさしさ・うるおいのある住宅づくり」を目標に、内城Ｂ団地の建替事業を進めてまいります。また、地域の活性化や住宅不足を解消するため、空き家の利活用の推進や危険廃屋解体撤去を推進するとともに、「和泊町公営住宅長寿命化計画」に基づき、公営住宅ストック総合改善事業により、建物の長寿命化を図るとともに、住民の安全の確保と住環境の整備に取り組んでまいります。

（5）生活環境衛生

快適でより良い住環境保持のため、引き続き徹底したごみの分別収集と、発生抑制、再利用、再資源化の活動を推進し、循環型社会の形成に向けてごみの減量化を図ります。また、ポイ捨て及びふん害の防止条例の制定に伴い、環境美化の促進を図り、町民が快適で住みよい生活環境を確保するため、さらなる公衆道徳の向上に努めてまいります。

（6）環境にやさしい循環型エコのまちづくり

魅力ある沖永良部島再生を目的に、「緑の再生、花の植栽、生活環境の保全対策」などを推進しているところです。

平成29年３月に国立公園に指定されたフーチャについては、自然景観を探勝できる重要拠点であるため、遊歩道の再整備等を行い、利用者満足度の向上を図ります。自然環境の保全については、今後も引き続き、地球温暖化防止実行計画に基づき、温暖化対策を推進するとともに第６次和泊町総合振興計画の策定に併せて気候変動適応計画についても位置付けを行ってまいります。

（7）安心・安全なまちづくり

町民の安心・安全な生活が確保される地域づくりのため、関係機関と協力しながら、近年多様化する様々な犯罪の未然防止のための啓発や、交通事故の削減に向けての取組を強化し、安心・安全なまちづくりに努めて

マチイロ
広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。
ダウンロードはこちらから→

まいります。
　また、防災減災につきましては、老朽化している水槽付消防自動車の更新を行い、火災発生時に迅速な消火活動ができるよう消防設備の充実を図るほか、地域防災力の充実強化のため、複数の自主防災組織が連携して、自主的な防災訓練等の実施について充実した活動ができるよう「公助」により支援し、住民の防災減災に対する更なる意識の向上を図ってまいります。

（8）共生・協働のまちづくり

　平成31年度（２０１９年度）も自主的な活動を実施している各種団体に、「あざ・まち元気活動事業」を通して活動支援をしてまいります。現在、ソフト事業のみの支援をしておりますが、ハード事業の可能性・需要性も探りながら、研究してまいります。

（9）情報化の推進

　有線テレビについては、昨年の台風24・25号の襲来によるケーブル断線が生じ、長期間視聴できない事態が起こり、町民の皆様には多大なる御迷惑をお掛けしました。今後は、今回の経験を活かし、工事短縮が可能な工法の模索を行い、万全な対策を図ってまいります。あわせて、設備・機器の老朽化が著しいことから、その補修や更新に努めており、コミュニティ放送では、より一層、町民主体で魅力ある番組になるよう努めてまいります。
　また、通信システムが「高速・大容量」へと目覚ましく発展しており、各分野においてＡＩ及びＩＣＴを利用した施策を模索しながら、地域の課題解決に向けて進化する情報化に対応してまいります。

5 財政事情及び各会計予算

（1）財政事情

　本町の財政事情については、国の施策等に伴う新たな行政需要等に対応するため、多額の町債を発行した結果、平成26年度決算において経常収支比率等の財政指標が県内ワースト1となるなど、厳しい状況でありましたが、平成28年度からの5年間を財政健全化（集中）対策期間として、財政健全化に取り組んだ結果、平成29年度末の地方債残高が97億円となっております。
　平成29年度から開始されました新庁舎建設事業のため約11億円の町債を発行することから、平成30年度末の地方債残高は１００億円を超える見込みでありますが、引き続き財政健全化のため歳出全般の見直しによる経常経費の削減に努めてまいります。平成31年度（２０１９年度）当初予算については、昨年度同様に財源不足が生じたことから財政調整基金等からの繰入れを伴う予算編成となっております。
　今後とも、社会資本等の整備や維持管理、住民サービスの向上を図るため、機能的かつ簡素で効率的な行政運営に向けた取組を推進するとともに、全国的に課題となっております公共施設の適正管理について、公共施設等適正管理推進事業債や公共施設等適正管理基金を活用し、公共施設等総合管理計画等に基づき計画的に実施してまいります。

（2）一般会計予算

　平成31年度（２０１９年度）一般会計予算の総額は、対前年度比４億５６７４万５千円（６・６％）減額の64億４０５５万５千円となりました。
　義務的経費については、人件費７０７万２千円、扶助費１６１９万７千円及び公債費９４２万５千円の増額により対前年度比３２６９万４千円（１・２％）増額の28億９０６万円となりました。
　投資的経費については、普通建設事業費７億２１３８万３千円及び災害復旧費１０７５万５千円の減額により対前年度比７億３２１３万８千円（42・９％）減額の９億７４８８万６千円となりました。

（3）特別会計等予算

　平成31年度（２０１９年度）和泊町特別会計及び企業会計の予算は、次のとおりとなりました。
（水道事業会計の資本的事業は除く。）

国民健康保険特別会計予算	9億1453万円
介護保険特別会計予算	9億8741万1千円
後期高齢者医療特別会計予算	8千533万5千円
下水道事業特別会計予算	3億3851万4千円
農業集落排水事業特別会計予算	2億4155万円
奨学資金特別会計予算	1019万2千円
水道事業会計予算（収益的事業）	1億8876万円
計	27億6629万2千円

マチイロ 広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。ダウンロードはこちらから→

平成31年度町職員人事異動・区長紹介

総務課　84-3511

級		氏　名	新　職　名	旧　職　名
課長級	○	玉野憲治	町民支援課長	耕地課長補佐
	○	永井　徹	教育委員会事務局長	企画課長補佐
	○	甲　恵子	総務課参事兼課長補佐	総務課長補佐
		東　敏仁	経済課長	町民支援課長
課長補佐級	○	町田　学	町民支援課長補佐	町民支援課係長
	○	山田哲仁	耕地課長補佐	耕地課係長
	○	名越晴樹	教育委員会事務局次長	教育委員会事務局係長
		山元博文	企画課長補佐	教育委員会事務局次長
		先山直喜	会計課長補佐	町民支援課長補佐
係長級		田浦幸乃	耕地課係長	税務課係長
		重信英樹	総務課係長	経済課係長
		永野敏樹	企画課係長	総務課係長
		前田浩樹	教育委員会事務局係長	会計課係長
3級主査級	○	上別府立	企画課主査	企画課主査
	○	朝戸　博	税務課主査	税務課主査
		大坪忠仁	農業委員会事務局主査	経済課主査
		清水　誠	経済課主査	保健福祉課主査
		竹下富廣	税務課主査	経済課主査
		安田　拓	経済課主査	企画課主査

2級主査級	○	衛守　歩	町民支援課主査	町民支援課主事
	○	名越寛人	生活環境課主査	生活環境課主事
		前田啓至	総務課主査	鹿児島県市町村情報センター
主事級		西田真咲美	企画課主事	耕地課主事
		山田大地	生活環境課主事	農業委員会事務局主事
		川畑委代	保健福祉課主事	企画課主事
		竹下久哉	総務課主事	企画課主事
		末川圭太	保健福祉課主事	経済課主事
研修・派遣		八木大輔	鹿児島県後期高齢者医療連合	保健福祉課主事
		有林　翼	鹿児島県総務部市町村課	総務課主事
新規採用		池田勇太	企画課主事	
		国分紘喜	経済課主事	
		葉棚文子	町民支援課主事	
		永野りこ	国頭こども園保育士	
退職		美野忠徳		教育委員会事務局長
		武　吉治		経済課長

○は昇格

区長紹介

●は新　敬称略

字　名	区長氏名
和泊	森富　隆
和	沖田　久
手々知名	野山　孝仁
上手々知名	伊集院　周克
喜美留	先山　安孝
出花	上山　富秀
● 伊延	藤井　勝仁

字　名	区長氏名
畦布	三島　好美
国頭	田代　吉信
西原	林　一孝
根折	有林　勝美
● 玉城	榮和　宏
大城	野山　信興
● 皆川	徳永　孝三

字　名	区長氏名
古里	古村　勝博
内城	武宮　清和
瀬名	中村　良生
● 永嶺	大福　勇
仁志	亘和　也
谷山	島田　米明
後蘭	福田　健一郎

平成31年度町教職員人事異動

教育委員会事務局　92-0009

本町に新しく赴任された先生方

和泊小学校	
職　名	氏　名
教　頭	日置　正齊
教　諭	榮　有佳子
〃	羽矢　幸生
〃	西　盛治
栄養教諭	城戸内　麻子

大城小学校	
職　名	氏　名
校　長	田邊　ツル子

内城小学校	
職　名	氏　名
校　長	雪丸　堅
教　諭	竹迫　秀一
〃	荒木　恵子

国頭小学校	
職　名	氏　名
教　頭	米森　一孝
教　諭	逆瀬川　芳恵
〃	島子　修平
〃	村田　彰
専門員	宮山　博弥

和泊中学校	
職　名	氏　名
教　諭	堀田　和光
〃	永田　大輔

城ケ丘中学校	
職　名	氏　名
教　諭	宮迫　和歌菜
〃	神田　みゆき
養護教諭	山田　浩美
事務職員	新福　竜弥

マチイロ　広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。
ダウンロードはこちらから→

第 38 回花の島沖えらぶジョギング大会

３月 17 日（日），笠石海浜公園を発着点に第 38 回花の島沖えらぶジョギング大会が開催されました。
汗ばむ陽気に恵まれ，2,307 名のランナーは夏のような日差しのもと完走を目指しました。

マチイロ 広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。
ダウンロードはこちらから→

ウェルカムパーティー

第 39 回フラワーフェスティバル

３月 17 日（日），ジョギング大会終了後，和泊中学校体育館において第 39 回フラワーフェスティバルが盛大に開催されました。

新観光大使の小谷　優さん，伊集院　彩希さんのお披露目が行われ，観光協会会長前登志朗さんから委嘱状の交付を受けました。このほかに，各団体の演芸披露や前田博美さん，きいやま商店のライブが行われ大いに盛り上がりました。

小谷　優さん

伊集院　彩希さん

きいやま商店

前田　博美さん

マチイロ　広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。ダウンロードはこちらから→

（特別）児童扶養手当制度について

町民支援課　84-3516

○児童扶養手当

父母の離婚等により，父（母）と生計をともにしていない児童の母（父），又は児童の父（母）の身体などに重度の障害がある場合の母（父），あるいは母（父）に代わってその児童を養育している方に対して支給します。（所得等による制限があります）

※児童とは 18 歳に達した日以降の最初の 3 月 31 日までの者

○特別児童扶養手当

20 歳未満で身体，知的又は精神に障害のある児童を監護している親，もしくは親に代わってその児童を養育している方で，所得額が所得制限限度額以下の方に対して支給します。

※児童が福祉施設等に入所している場合は支給されません。

※手当を受給するには，申請手続きが必要です。

詳しくは，和泊町役場町民支援課までお問い合わせください。

故泉貞吉前町長町民葬

２月 17 日（日），和泊中学校体育館において，平成 30 年 11 月 26 日に御逝去された，和泊町名誉町民故泉貞吉氏の町民葬が執り行われました。

当日は，島内外から 800 人を超える方々に御参列を賜わり厚く御礼申し上げます。

平成 31 年度「派遣登記所」の開設について

総務課　84-3511

法務局では，土地や建物の相続，売買，贈与などの登記申請や，登記事項証明書などの交付請求をお受けするために，「派遣登記官（派遣登記所）」を開設しています。

登記に関する御相談もお受けしていますので，相談を希望される際は，奄美支局まで事前に予約をお願いします。

開 設 日 ： ６月 13 日（木），８月８日（木），
10 月 10 日（木），12 月 12 日（木），
２月 13 日（木）
開設時間：９：00 ～ 12：00
取扱事務：・不動産に関する登記申請書の受付
・登記事項証明書，会社の印鑑証明書などの交付請求書の受付
・登記申請手続きに関する相談

※飛行機の都合，天候不良等により変更・中止となることもあります。

予約・お問い合わせ先
鹿児島地方法務局奄美支局
TEL：0997-52-0376

マチイロ 広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。
ダウンロードはこちらから→

和田川松氏叙勲伝達式

３月 11 日（月），町長室において，和田川松氏へ旭日単光章の伝達が行われました。

和田氏は，３期 12 年の長きにわたり，和泊町議会議員を務め，特に農業基盤整備や産業の振興に尽力されました。88 歳になられた現在も，お元気にじゃがいもやゆりの栽培等に励まれています。

みんなの会議開催 !!

３月７日（木），和泊町防災拠点施設やすらぎ館において，第１回みんなの会議が行われました。第６次総合振興計画策定に向けての政策提言の事例発表や観光や福祉，子育て等の 13 分野に分かれ，課題や解決策，未来ビジョン等について，活発な議論が交わされました。

2019 年度内の総合振興計画策定を目指し取組んでいきます。

新元号発表！ 島内最高齢　大里アキさん

４月１日（月），新元号「令和」が発表されました。

国頭字のグループホームひだまりで生活する大里アキさん（和字出身）は明治 45 年生まれの 106 歳で，明治・大正・昭和・平成・令和の５時代を歩むことになります。

アキさんが一番好きな時代は，「大正時代」だそうです。新しい時代は，「悲しいことがなく，明るい時代が来ることを願っています。」とハキハキ元気に語ってくれました。

新たな水産事業創出に係る調印式

３月 20 日（水），役場１階多目的ホールにおいて㈱新日本科学と新たな水産事業創出に向けた調印式が行われました。

全国的に不漁が続いているシラスウナギの人工種苗での大量生産を目指し，同社の技術と沖永良部島の自然を活かして伊延港近くに研究拠点を構える予定です。

マチイロ　広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。
ダウンロードはこちらから→

元気！わどまりクラブ通信

３月２日（土）『クラブ CUP2019 キッズサッカー大会』がヤーシチ公園テニスコートにて行われ，６チーム総勢 42 名の小１～小４年生が参加しました。普段から練習しているということもあり，どれも白熱した試合展開で，初の大会優勝を飾ったのは『沖永良部 SC』でした。

準決勝

国頭６－１大城

沖永良部 SC ６－０和泊 SSS

決勝

沖永良部 SC ２－２国頭

ＰＫ

（２－１）

１位　沖永良部 SC
２位　国頭スポーツ少年団
３位　大城スポーツ少年団

2019 年度

元気！わどまりクラブ会員募集中

2019 年度の元気！わどまりクラブ会員募集のお知らせです。元気！わどまりクラブでは幼児の体操教室を始め，スポーツ少年団，ミニバレー，バドミントン，ダンス，サッカー，太極拳，自力整体，わらんちゃ（小学生対象の運動教室），ドッジボールなど様々な教室やサークルがあります。会員希望の方は教育委員会事務局までお申し込みください。

＜年会費＞		和泊町内在住者	和泊町外在住者
個人会員	0 歳～高校生 65 歳以上及び障がい者	3,000 円	5,000 円
	一般（上記以外）	5,000 円	8,000 円
家族会員	ファミリー会員 （同一世帯に限る）	10,000 円	15,000 円
スポーツ保険 （希望者のみ）	中学生以下 （スポ少は無料）	800 円	
	高校生以上～64 歳未満	1,850 円	
	65 歳以上	1,200 円	

※スポーツ少年団員の会員はスポーツ保険料が免除されます。

元気！わどまりクラブ　TEL：92-0300（教育委員会事務局内）
FACEBOOKページ　https://www.facebook.com/genkiwadomari

マチイロ　広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。ダウンロードはこちらから→

図書館だより

和泊町立図書館
TEL：92-3033
FAX：92-0773

○休館日は月曜日と一部祝日、そして整理休館日（毎月最終週の木曜日に実施）です。ご理解とご協力をお願いいたします。
詳しくは，町立図書館のホームページでご確認ください。
○4月から開館時間が午前10時～午後６時30分に変わります。

〈新着本紹介〉

一般書	
書　名	著　者
知的生活の設計	堀　正岳
農薬に頼らない病虫害対策	木嶋　利男
一切なりゆき	樹木　希林
熱帯	森見　登美彦
ベルリンは晴れているか	深緑　野分
ある男	平野　啓一郎

じどうしょ	
ほんのなまえ	かいたひと
日本史探偵コナン外伝 国宝編	青山　剛昌
はじめての子ども手話	谷　千春
落語ねこ	赤羽　じゅんこ
カテリネッラとおにのフライパン	剣持　弘子
かいちゅうでんとう	みやこし　あきこ
のらねこぐんだん おばけのやま	工藤　ノリコ

※この他にもたくさん入荷してますのでぜひ図書館にご来館ください。

〈寄贈本〉

氏　名	書　名
秋田　悦史	湖底の城　他５冊
田畑　裕之	つみきのいえ　他 66 冊
NPO オアシス水環境研究会 本村　輝正	有明高校物語　他３冊

おすすめ！

「フーガはユーガ」
伊坂　幸太郎　著

常盤優我は仙台市のファミレスで１人の男に語り出す。双子の弟・風我のこと，決して幸せではなかった子供時代のこと，そして彼ら兄弟だけの特別な「アレ」のこと。僕達は双子で不運，だけど僕達は，手強い。
2019 年本屋大賞ノミネート作品。

健康の窓

保健センター
TEL：84-3526
FAX：81-4040

がん検診を受けましょう！

がんは，和泊町の死亡原因の第一位です！！
下記の日程でがん検診が行われます。１年に１回は検診を受けて，異常の早期発見，早期治療に努めましょう☆

☆肺がん・結核検診☆
日程：2019 年 6 月 5 日（水）～ 2019 年 6 月 14 日（金）
場所：各字公民館，役場多目的ホール
※４月区長会で受診票等を配布します。

☆子宮頸がん・乳がん検診☆
日程：2019 年６月 18 日（火）～ 2019 年６月 23 日（日）
場所：国頭研修会館，玉城字公民館，内城字公民館，保健センター
※５月区長会で受診票等を配布します。

その他

○詳しい日時，場所，対象者，料金等は，受診票に記載されていますので，御確認ください。
○御不明な点は保健センターまでお問い合わせください。

マチイロ　広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。
ダウンロードはこちらから→

地域おこし協力隊からのあぐだより

Vol.27 島しょ地域ＥＳＤ交流会

３月19日（火），九州地方環境パートナーシップオフィス（EPO九州）が主催し，「島しょ地域ESD交流会」にて沖永良部島の活動報告をさせて頂きました。

私からは，２年間の地域おこし協力隊として，１集落支援活動，２観光，３関係人口づくりを実践してきた活動を報告しました。

集落支援活動として，根折字の８年間空家だった古民家を字青年団の方々と一緒に改修し，子供達の遊び場作りをして，お母さん方の交流の場として使われたり，移住希望者の方が長期滞在するなど多目的な空間として活用されている事例などを発表しました。

屋久島のHUB & LABO Yakushima代表の福元豪士さんは，屋久島の自然をフィールドとして教育の観点から子供達の生きる力を育む活動をされています。

２児の父親でもある福元さんは，子供達の生きる環境を整えてあげたいという想いを語っていたのが印象的でした。

奄美大島の山本美帆さんは，瀬戸内阿木名集落内にて，空き古民家を活用した創業支援や地域活動の拠点である，「HUB a nice d!」の運営をされております。

すぐに独立開業が困難な人に店舗を貸し出すチャレンジショップ運営や，特定の企業や団体に属さないフリーランス（個人事業主）への仕事場提供を行っており，地域の関係人口づくりや賑わい創出の取組を発表されておりました。

今回の「島しょ地域ESD交流会」を通じて，実践者から学んだことを，今後の自分の活動に生かしていこうと思います。

和泊町役場企画課　和泊町地域おこし協力隊　TEL：84-3512
地域おこし協力隊活動ブログ
http://www.wadomari.com/

Information!

■工業統計調査を実施します

○工業統計調査は、従業者４人以上の全ての製造事業所を対象に６月１日時点で実施します。

○工業統計調査は、我が国における製造業の実態を明らかにすることを目的とする政府の重要な調査で、統計法に基づく報告義務のある基幹統計調査です。

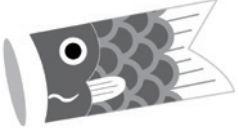
○調査の結果は、中小企業施策や地域振興など、国及び地域行政施策のための基礎資料として利活用されます。

○調査票にご記入いただいた内容は、統計作成の目的以外（税の資料など）に使用することは絶対にありません。

○調査の趣旨・必要性をご理解いただき、御回答をよろしくお願いいたします。

経済産業省・都道府県・市区町村

■2019年の天体観望会について

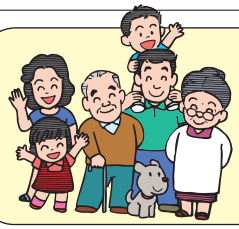


５月の天体観望会
①春の星座をさがそう
②木星を見よう
③金星を見よう

【お問い合わせ先】
和泊小学校
☎92－0004

第１回	５月23日（木），24日（金）
第２回	７月４日（木），５日（金）
第３回	９月12日（木），13日（金）
第４回	11月７日（木），８日（金）
第５回	2020年 1月16日（木），17日（金）
第６回	３月５日（木），６日（金）

マチイロ　広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。ダウンロードはこちらから→



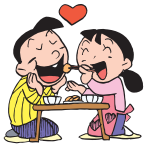
戸籍の窓

2月1日～3月31日までの届けのうち，掲載依頼のあった届けのみを掲載しております。（敬称略）

町の人口
4月1日現在
（）は前月比

総人口	6,510人	（－ 102）
男	3,217人	（－ 64）
女	3,293人	（－ 38）
世帯数	3,273戸	（－ 43）

よいご家庭をお築きください



氏名	住所
川島　恵悟	国頭
名越　恵美	西原

あかるくすこやかに

子の名	性別	保護者	住所
伊地知　優太（ゆうた）	男	亮太・未央	喜美留
加納　茉実（まみ）	女	和朗・夕貴	和泊
久冨　ましろ	女	純一・絵理	西原
南　蒼琉（あいる）	男	仁・愛佳	国頭
中山　英樹（ひでき）	男	栄一・奈緒子	喜美留
喜井　梛貴（ないき）	男	泰貴・幸	喜美留
大野　叶葵（とあ）	女	良太・理菜	和泊

おくやみ

生前のご貢献に感謝を捧げるとともに，ご冥福をお祈りします。

月日	故人	歳	住所
2/7	山元　芳子	86	手々知名
2/15	中村　忠正	93	国頭
2/18	前田　忠裕	79	喜美留
2/19	佐藤　格治	70	手々知名
2/22	田原　スエ	94	手々知名
2/24	大吉　フミ	95	和
2/25	前田　慶雄	87	玉城
2/26	関糸　ヨシ子	91	和泊
3/2	盛　まつ	96	和泊
3/3	南　和	94	和泊
3/8	前田　照雄	69	後蘭
3/10	泉　儀文	92	出花
3/11	大山　大元	101	根折
3/17	山本　榮一	91	仁志
3/24	前田　冨久	89	後蘭

香典返し

寄付者	故人	続柄	住所
鍋田　宮子	武則	夫	国頭
伊集院　光宜	幸子	妻	和泊
山元　季照	芳子	妻	手々知名
大坪　智明	輝子	母	和泊
中村　幸雄	忠正	父	国頭
速水　美佐枝	良夫	叔父	大阪府
田原　義仁	スエ	母	手々知名
大吉　幹雄	フミ	母	和
関糸　島富	ヨシ子	妻	和泊
木下　正晴	なのみ	妻	永嶺
前田　アイ子	慶雄	夫	玉城
藤田　修	忠良	父	和泊

寄付者	故人	続柄	住所
平　眞一	南　和	母	和泊
大山　政照	大元	父	根折
盛　勝彦	まつ	母	和泊
前田　トミエ	照雄	夫	後蘭
玉里　俊治	ツル	母	玉城
加納　秋一	昭明	弟	和泊

マチイロ　広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。ダウンロードはこちらから→

祝入学おめでとう!!

和泊小学校い組

和泊小学校ろ組

大城小学校

国頭小学校

内城小学校

城ケ丘中学校

和泊中学校１組

和泊中学校２組

広報わどまり No.363 2019.4

■発行／和泊町役場 〒891-9192 鹿児島県和泊町和泊10番地
■TEL：0997（92）1111 FAX：0997（81）4477
■ホームページ：http://www.town.wadomari.lg.jp
■Eメールアドレス：sstv@town.wadomari.lg.jp